



2018  
February  
12

(15) 地域統合

2018年(平成30年)2月12日 月曜日

宮崎

「お米とわたし」全国作文コン

仲本さん(宮崎第一中)2位

宮崎市・宮崎第一中(池間健治校長、327人)2年の仲本愛さん(14)が、第42回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール(全国農業協同組合中央会など主催)の作文部門で、2位に当たる農林水産大臣賞に輝いた。仲



仲本 愛さん

本さんは「驚いた。多くの人に米の大切さが伝われば」と話している。

受賞作の題名は「国境を越えた一粒」。2014年から2年間、アフリカのガボン共和国で稲作栽培を指導した青年海外協力隊員のいところを通じて知った、米作りの難しさ

と当たり前の生活のいとおしさを書いた。現地のいところから電子メールで届く稲の成長記録には、天候不良やシカによる被害がつけられ「宮崎では見慣れた田園風景も、簡単に手に入れられるものではないと気付いた」という。

昨年の夏、同共和国の少女から1粒の米が封筒に入って届いた場面の描写には「一番力を入れた。感情の動きを書き込んだ」と仲本さん。小さな粒を手にした時「お米が目の前にあることへのありがたさを感じた」と話す。

仲本さんは1月中旬に東京都で開かれた授賞式に出席。「他の受賞作品を読み、レベルの高さを感じた。今後いろいろな作文コンクールに応募したい」と意欲を見せる。

地域統合 TOUGOU

平成30年2月12日(月)宮崎日日新聞掲載記事。第42回「ごはん・お米とわたし」作文図画コンクール(全国農業協同組合中央会など主催)において、中学2年生の仲本愛さん(高鍋東小出身)が作文部門で農林水産大臣賞を受賞しました。

受賞作品の全文は[こちら](#)  
(外部サイトに接続します)

新聞掲載

宮崎日日新聞  
(2月12日掲載)

作文・図画コンクールは全国の小中学生が対象で、今回は作文、図画部門に計12万6654点の応募があった。仲本さんのほか、県内からは2個人、1校が入賞した。入賞者は次の通り。(敬称略)  
【優秀賞】図画 大山凛太郎(宮崎市・宮崎南小4年)、宮本佳奈(新富町・富田中2年)  
【学校奨励賞】宮崎市・宮崎第一中高  
(川原智美)